



(備考) 上記の数値は、運転者の反応時間を0.75秒(3/4秒)とし、路面タイヤ間の摩擦係数を0.7としたもので、今後これを一般的な基準値とする。

(1) 車は、急には止まれません。停止するまでには、運転者が危険を感じてからブレーキを踏み、ブレーキが実際にきき始めるまでの間に車が走る距離(空走距離)と、ブレーキがきき始めてから車が止まるまでの距離(制動距離)を必要とします。この停止距離を考えて、危険が発生した場合でも、安全に停止できるような速度で運転しましょう。

交通安全のため

安全運転とブレーキとの関係は?

離)と、ブレーキがきき始めてから車が停止するまでの距離(制動距離)とを合わせた距離(停止距離)を必要とします。この停止距離を考えて、危険が発生した場合でも、安全に停止できるような速度で運転しましょう。

奨学金・入学一時金の貸与

奨学金の種類		貸与月額	募集人数
高等学校および高等専門学校	国立	25,000円	1,500人
	私立	30,000円	
大短	学大	40,000円	340人
	学大	50,000円	
大学院		80,000円	10人
専修学校および各種学校		40,000円	120人

奨学生の種類	一時金の額	募集人数
私立高等学校 高等専門学校	30万円	180人
私立大学 大短	40万円	120人

(2) 運転者が疲れているときは、危険を認知して判断するまでに時間がかかるので、空走距離は長くなります。また雨にぬれた道路を走る場合や重い荷物を積んでいる場合などは制動距離が長くなります。

(3) 路面が雨にぬれ、タイヤがすり減っている場合の停止距離は、乾燥した路面でタイヤの状態が良い場合に比べて2倍程度にのびることがあります。

(4) 天候、路面タイヤの状態、荷物の重さなどを考えに入れ、前の車が急に止まっても、これに追突しないような安全な車間距離をとらなければなりません。次号は、正しい姿勢とハンドルの操作です。

交通遺児奨学生の募集

交通遺児育英会は、自動車事故による交通ルールを守らない自転車乗りによる交通事故も多発しています。

故や踏切事故など道路における交通事故が原因で死亡したかたや重い後遺障害があるかたの子女等のうち、経済的な理由で修学が困難な者に学資を貸与して教育の機会均等をはかり、社会有用の人材を育成することを目的としています。

詳しくは、
財団法人 交通遺児育英会
東京都千代田区永田町一十一
一二十八
☎(03)三三五八一二二七
(奨学課)
までお問い合わせください。

自転車も 交通ルールを守りましょう。

風薫る五月は行楽のシーズンです。この時期は、若者や家族ぐるみのレジャー活動が活発になることから速度違反などの無謀運転、居眠り運転などに起因する交通事故が多発する傾向にあります。シートベルトを正しく着用し、安全運転に努めましょう。

また、交通ルールを守らない自転車乗りによる交通事故も多発しています。

〇二人乗り、傘さし運転、無灯火運転は絶対にやめましょう。

〇「一時停止」の場所はもちろん、狭い道路から広い道路に出る時は必ずいったん停止し、左右の安全を確かめましょう。

〇道路を変更する際は必ず後方の安全確認をしましょう。

〇二人乗り、傘さし運転、無灯火運転は絶対にやめましょう。

国税専門官募集

人事院・国税庁では「国税専門官」として活躍したいという希望に燃えた人を募集しています。

〔国税専門官とは〕

国税専門官とは、税務調査・検査及び申告の指導などを行う「国税調査官」、納税の督促・滞納処分及び指導などを行う「国税徴収官」、悪質な脱税嫌疑者に

対して捜索・差押え等の強制調査を行う「国税査察官」をいいます。

〔国税専門官への道は〕

国税専門官採用試験に合格し採用されまると、まず税務大学校において三ヶ月間、税法や簿記・会計等の基礎研修を受けます。

その後、税務署において約三年の実務経験を積んだ後、専門

職として必要な高度の専門知識、技能を習得するため、再び税務大学校において約六ヶ月の専科研修(専門研修)を受けます。

専科研修終了後、国税のスペシャリストとしての活躍がはじまります。

なお、国税専門官採用試験の受験要領は次のとおりです。

〔申込期間〕
五月一日(金)～五月十八日(日)

〔試験日〕
第一次試験 六月二十日(土)～六月二十一日(日)
第二次試験 八月二十日(木)又は八月二十一日(金)のいずれか一日で第一次試験合格通知書で指定する日

第一次試験 大宮市、高崎市、松本市、新潟市ほか
第二次試験 大宮市ほか
〔採用予定数〕
全国で約六百名
〔問い合わせ先〕
〒102 東京都千代田区九段南 一―一―一五
関東信越国税局
人事第二課試験研修係
TEL
〇三(三三三二)三九二一
(内線)二〇六六

五月は赤十字月間です 備えて守る尊い生命―赤十字

新潟県では、個人55万人、法人社員5,900社で、赤十字を支えています。
今月中に嘱託員の方から社費の納入のお願いに上っていただきますので、ご協力をお願いいたします。

赤十字はこのような活動をしています

みなさまからいただいた資金はこのように活動に使われています。

- 生命と健康を守る講習
- 災害救護活動
- 奉仕活動
- 国際救援活動
- 血液事業
- 青少年赤十字事業(JRC)

新潟県のある事業

- 救急車
- 黄色い帽子

毎月10日は 交通安全家庭の日
〈今月の標語〉
身につけた ベルトとマナーで ゴーサイン

